

BESIGN 6 月レポート

ウィーン、オーストリア

休暇を使用し、オーストリアのウィーンに一人旅をしました。ウィーンを選んだ理由は、私が好きな映画『ビフォア・サンライズ』の撮影地であったためです。1日目は、ウィーン式の古いカフェでランチを楽しんだ後、クリムトの『接吻』が飾ってあるヴェルベデーレ宮殿を訪れました。ウィーンの街は白く綺麗なヨーロッパ式の古い建物が立っており、とても美しいです。



カフェ巡り

ウィーンはタイムスリップをしたかのような体験ができる老舗のカフェがたくさんあります。私はこの旅で数箇所回ることができました。その中で一番雰囲気が良かったのは「カフェ カフカ」です。薄暗い照明の店内は壁に古いポスターがびっしり貼ってあり、座席はふわふわのクッションです。音楽は60sから80sのビートルズやプリンスが流れており、自分にとっては最高の空間でした。



食べ物

ウィーンはその伝統的なケーキや食べ物で有名です。フランスパンに本場のウィンナーソーセージを挟んだものは肉汁が溢れて最高でした。「老舗カフェ ザッハー」のオリジナル・ザッハトルテはアプリコットジャムの酸っぱさとチョコクリームの甘さが絶妙な味を出していました。ウィンナー・シュニッツェルは薄い豚肉をサクサクな衣でカラッと揚げた、シンプルながらも長年愛されているウィーンの郷土料理です。有名な「デメル カフェ」のカイザーシュマレンは不揃いのふわふわなパンケーキにワインソースがかけられたお菓子です。ウィーンの美しい街を探検しながら食べ歩きをしました。



パートナーシップ

パートナーシップの最終プレゼンが行われました。

ビザインの組織「オブジェクティブオーシャン」にはしっかりとしたグラフィックチャーター、ウェブサイトが存在していなかったため、ロゴから組織の意義までを一から作成しました。学校長からの評価は満足いくものではありませんでしたが、仲間と作り上げた本やウェブサイトはとても美しく、見応えがあります。このパートナーシップで学んだグラフィックデザインのスキルはこの先のキャリアで大変役立つものになると思います。



ジェノバ

最後の一人旅行にはイタリアのジェノバを訪れました。ジェノバは私が大好きなパスタ、ジェノベーゼ生誕の地です。しかし、ジェノベーゼより美味しいものを見つけてしまいました。それはフォッカチアです。オリーブオイルをヒタヒタに浸されたそのパンはありえないほどジューシーでサクサク食感ともちもち食感が同時に味わえる魅力的なものです。あまりにもおいしかったため、私は1日に3回も食べてしまいました。



学校最終日

学校に行く最後の日は、サステナブルデザインの歴史を学ぶ授業の最終プレゼンがありました。私はとても緊張して発表をしたのですが、先生からは「あなたは自信を持って自分らしく発表することができていた。」と褒めていただきました。最後に仲間と別れのハグをした際、堪えていた涙が一気に溢れてしまいました。クラスメートから「大丈夫、絶対あなたは戻ってくるからね」と慰めの言葉をもらい、さらに涙が止まりませんでした。この10ヶ月は私の人生の中で忘れられない貴重な体験となりました。またニースに戻って来られるように、これからはさらに一所懸命に努力をしたいです。

